

施策評価シート(平成25年度評価実施)	担当部課名	市民病院	関連部課名	看護専門学校
基本目標	笑顔で安心して暮らせるまちづくり【健康・福祉】			
施策名	地域医療			
市内において日常的に十分な医療サービスを受けることができるように、地域医療体制の充実を図るとともに、かかりつけ医制度の促進や救急医療体制の充実、さらに基幹病院として市民病院の経営の健全化や医師・看護師の確保などの取組を推進します。				
施策が目指す蒲郡市の将来の姿				
<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民がかかりつけ医を持ち、市民病院と連携した医療体制が整っています。</li> <li>●市民病院の経営が健全化されています。</li> </ul>				

#### ◆具体化した施策の取り組み実績

##### 1 地域医療体制の充実

項目	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度計画
病診(地域医療)連携室経由受診予約数	4,024件	5,771件	6,700件
転院援助実績	526件	622件	690件

##### 2 救急医療の適正化

項目	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度計画
時間外延患者数のうち救急搬送以外の患者数	12,264名	13,369件	12,000件
休日急病利用者数	2,657名	2,735名	2,800名

##### 3 市民病院の経営健全化

項目	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度計画
外来患者数	194,591名	186,473名	191,540名
入院患者数	102,219名	92,337名	95,995名
常勤医師数	41名	42名	45名
常勤看護師数	260名	266名	280名

##### 4 看護師養成の充実

項目	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度計画
国家試験合格者数	30名	29名	33名
蒲郡市民病院就職者数	14名	20名	23名
退学者数	4名	12名	6名

◆評価指標

指標名	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	将来目標
患者紹介率	目標値	28.0%	28.5%	31.0%	60.0%
	実績値	25.9%	28.4%		
患者逆紹介率	目標値	18.0%	20.0%	20.0%	30.0%
	実績値	16.9%	19.4%		
経常収支比率	目標値	100.3%	100.0%	100.0%	100.0%
	実績値	94.9%	95.6%		
医業収支比率	目標値	89.2%	95.0%	95.0%	95.0%
	実績値	87.9%	90.3%		
人件費比率	目標値	55.5%	52.0%	52.0%	52.0%
	実績値	55.4%	55.5%		
材料費比率	目標値	22.0%	21.0%	19.0%	19.0%
	実績値	22.3%	19.0%		
国家試験合格率	目標値	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	実績値	91.4%	96.6%		
蒲郡市民病院への就職率	目標値	70.0%	70.0%	70.0%	80.0%
	実績値	40.0%	71.4%		
退学率	目標値	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%
	実績値	3.4%	10.1%		

◆指標の説明・考え方

指標名	説明・考え方
患者紹介率	$(\text{紹介患者数} + \text{救急患者数}) / \text{初診患者数}$
患者逆紹介率	$\text{逆紹介患者数} / \text{初診患者数}$
経常収支比率	$(\text{医業収益} + \text{医業外収益}) / (\text{医業費用} + \text{医業外費用})$
医業収支比率	$\text{医業収益} / \text{医業費用}$
人件費比率	$\text{人件費} / \text{医業収益}$
材料費比率	$\text{材料費} / \text{医業収益}$
国家試験合格率	卒業生全員が看護師資格を取得することが最大の目的
蒲郡市民病院への就職率	市税を投入して地域医療に貢献する学校であるため、蒲郡市民病院への就職率を高める
退学率	1人でも多くの看護師を育成する学校として入学者全員が卒業できるよう指導していく

## ◆指標の分析

### 【市民病院】

・患者紹介率・逆紹介率については、他の医療機関との連携、機能分化を促すための重要な指標であるが、市民病院では、平成24年7月に地域医療連携室を立ち上げたばかりであり、徐々に成果を見せているものの、依然他の地域基幹病院と比較して低い。

・病院の安定的・継続的な運営を行うためには、経常収支の黒字化を目標とするものの、医師不足により一部診療体制を縮小せざるを得ない状況は続いており、経常損失を生じている。

・DPC移行により平均在院日数が短縮され、医業収益総額は減ったものの、医薬品を主とする材料費も多く削減されている。

・人件費比率については、年齢構成なども影響し、類似団体よりも依然高い状況であるが、材料費比率については、DPC(診断群分類別包括制度)への移行にあわせ、後発医薬品の切り替えを進めており、今後さらなる改善が見込める。

### 【看護専門学校】

・国家試験の合格率については、受験結果が合格者28名、不合格者1名となったため、全国の合格率を上回っているものの、目標値を達成できなかった。

・蒲郡市民病院への就職率については、医療機関に就職した28名のうち20名が就職し、目標値を上回る結果となった。

・退学者率については、半数以上の休学者が退学したことにより、目標値を大幅に超過したが、平成24年度の状況については、稀なケースであると分析している。

## ◆今後の方針

### 【市民病院】

・市内には市民病院を代替する規模・水準の病院が他に存在しないため、民間病院や診療所では対応が困難な医療分野、不採算分野を担う必要がある。

・医師の確保については、県内4大学の各医局からの派遣を主としているが、大学医局に所属している医師数自体が減少しているため、医局からの医師の派遣が従来と比べ、一段と厳しさを増している。

・病院移転から10年以上経過し、移転当時に購入したCT装置、ライナック装置などの高額機器を含めた多くの医療機器が更新時期を迎えており、計画的な更新が必要である。

・隣接する豊川市民病院が新築移転され、医師だけでなく、看護師の確保も喫緊の課題であり、ソフィア看護専門学校との連携をさらに深める必要がある。

### 【看護専門学校】

・地域医療を担う看護師の育成を設置目的としている以上、蒲郡市民病院への就職率を高めることが責務であることは充分認識しているが、看護師学校養成所指定規則第4条により「特定の医療機関に勤務することを入学の条件にすることや、特定の医療機関に勤務しないことを理由に不利益な取り扱いをしないこと」となっているため、学校において勤務先を強制することができないのが難点である。

・成績不良、実習での自信喪失等により、退学者が毎年出ているのが現状である。また、平成21年度のカリキュラム改正に伴い、看護教育もかなり厳しいものになっており、学生自身、相当な努力が必要になってきている。入学した学生を全員卒業させるということが理想ではあるが、現実是非常に厳しい。

### 【市民病院】

・平成23年度までの計画期間であった改革プランにかわり、新たな中期計画を策定し、効率的な病院経営に努めていく必要がある。DPCへの移行2年目を迎え、疾病別、診療科ごとの採算把握、クリニカルパスや使用薬品の見直しなど、医療の生産性、効率性の評価を行う体制を整備していく。また、医療機器の更新については、急性期医療を担う病院として、単に耐用年数経過順でなく、必要性の高いものから計画的・優先的に更新していく。

・平成24年7月に立ち上げた地域医療連携室を核として、地域性を踏まえた効率的な機能・医療分担に努めていき、2次医療機関として病診連携や病病連携を通じて広域連携による医療体制の充実を図っていく。

・医師確保については、県内4大学に対しては、医局からの派遣が厳しい状況が続いているが、積極的かつ継続的な働きかけを行い、各医局との連携強化を図る。また、民間の医師派遣会社からの情報提供やホームページへの掲載等各種手段を講じていく。

### 【看護専門学校】

・地域医療、特に蒲郡市民病院への看護師供給源として大きな役割を担っている現状をみると、引き続き、市が設置者として学校運営を行なっていくという形が望ましい。そのためには、市民病院への就職率をより高め、看護師不足を解消するよう努めていく必要がある。今後も、教職員と市民病院のスタッフとの連携を深め、一体となって学生指導にあたる体制の充実を図っていく。

・他の看護師養成所(大学・専門学校・高校)の状況、卒業生等の進路先の情報等をよく見極めながら、将来のあり方を検討していく。

課長評価	構成事業の進捗状況	B:おおむね計画どおり進行している。
	施策の進め方	B:一部見直しが必要である。
	コメント	<p>【市民病院】          病院の安定的経営のためにも、経常収支黒字化を目標にするものの、達成できなかった。          DPCへの移行、地域医療連携室の立ち上げなど経営環境も大きく変化しており、新たな中期計画に基づき、効率的な病院運営に努めていく必要がある。</p> <p>【看護専門学校】          看護専門学校と市民病院が一体となり、学生指導にあたる体制づくりは着々と進行しており、平成24年度における蒲郡市民病院への就職率は目標の70%を上回る結果となった。</p>

部長評価	施策の進捗状況	B:おおむね計画どおり進行している。
	コメント	<p>公立病院の経営を取巻く環境は、人口減少による患者数の減少、診療報酬の改定及び見直し、消費税率のアップなど今後益々厳しさを増して行くことを十分に認識し、地域医療を支える中核病院として、医療従事体制充実のための人材確保、地域連携の強化、医業費用の適正化、包括医療制度の精査検証、信頼の回復など課題解決に向けた中期的な経営戦略の策定が急務である。</p>

施策に属する事務事業一覧

総合計画	所管課	番号	事業名	人件費を除く事業費(千円)	人件費(千円)	人工	総合評価	事業の種類別	市長マニフェスト	実施計画
1-2	健康推進課	193	一般保健衛生事業(在宅、東三河平坦部等)	61,662	882	0.11	B	カ	4	○
1-2	健康推進課	204	休日急病診療所管理運営事業	34,028	2,456	0.35	B	カ	4	○
1-2	健康推進課	205	休日歯科診療所管理運営事業	10,023	2,456	0.35	B	カ	4	○
1-2	看護専門学校	223	教育・研究活動支援事業	16,980	92,444	14.09	B	カ	—	×
1-2	看護専門学校	224	学校施設維持管理事業	15,530	6,373	0.91	B	カ	—	×
1-2	市民病院事務局	538	病院職員の採用退職手続事業	0	17,437	2.60	B	イ	4	○
1-2	市民病院事務局	539	病院職員給与等支給事業	0	8,318	1.80	B	イ	—	×
1-2	市民病院事務局	540	病院経理事業	4,697	11,886	1.60	B	イ	—	×
1-2	市民病院事務局	541	院内保育所運営管理事業	21,605	743	0.10	A	イ	—	×
1-2	市民病院事務局	542	医療用材料在庫管理事業	17,010	4,522	1.40	B	イ	—	×
1-2	市民病院事務局	543	医療用機器等契約発注事業	0	3,561	0.60	B	イ	—	○
1-2	市民病院事務局	544	医療用機器等管理事業	78,934	1,037	0.20	B	イ	—	×
1-2	市民病院事務局	545	院内テナント行政財産使用許可、業務指導管理事業	0	743	0.10	A	イ	—	×
1-2	市民病院事務局	546	医療研究研修の支援事業	18,286	4,894	2.00	B	イ	—	×
1-2	市民病院事務局	547	病院建物等維持管理事業	151,511	4,668	0.90	B	ウ	—	×
1-2	市民病院事務局	548	医師住宅用官舎管理事業	1,389	259	0.05	B	ウ	—	×
1-2	市民病院事務局	549	病院防災訓練、啓発事業	0	259	0.05	B	イ	—	×
1-2	市民病院事務局	550	外来医療事務事業	94,941	856	0.35	B	カ	—	×
1-2	市民病院事務局	551	入院医療事務事業	34,524	856	0.35	B	カ	—	×
1-2	市民病院事務局	552	診療報酬請求事務事業	17,262	3,318	1.30	B	イ	—	×
1-2	市民病院事務局	553	カルテ等管理事務事業	25,893	382	0.10	A	イ	—	×
1-2	市民病院事務局	554	未収金管理事務事業	0	3,764	1.15	B	イ	—	×
1-2	市民病院事務局	555	医療情報管理事務事業	36,185	27,868	4.75	B	イ	—	×
1-2	市民病院事務局	556	病院ボランティア事務局事務事業	331	3,561	1.15	B	イ	—	×
1-2	市民病院事務局	557	地域医療連携室事務事業	0	26,303	5.45	B	カ	—	○